

高屋中学校だより

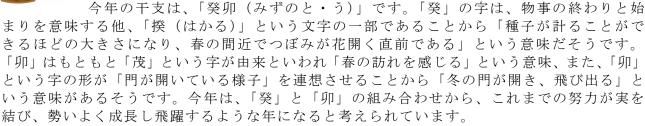
<校訓> 正しく 仲よく たくましく

☆ 教育目標 「教養豊かで、たくましく生きる生徒の育成」 http://www.edu.city.ibara.okayama.jp/site/takatyu/ 高屋中学校1月号 (第9号)

令和5年1月17日

HEUCONCESSION

2023年、令和5年が始まりました。冬休みを有意義に過ごし、決意や希望をもって新年を迎えたことと思います。



3学期は、今の学年のまとめの学期であり、次のステージへ進むための準備をする学期でもあります。3年生は、自分の進路先を決めるだけでなく、進路先でさらに自分を伸ばす力を付けるための期間です。2年生は、最上級生として学校をリードできる力を身に付ける期間、1年生は、学校の中堅となり、4月に入学してくる新入生の良きモデルとなる力を付ける期間になります。

つまり、この3か月は自分自身を「飛躍」させるための重要な期間です。自分を磨き、卒業後や進級後に夢や希望を持って生きていく力を身に付ける期間なのです。一人一人が、これまでの自分の学びを振り返り、しっかりとした行動目標を立ててください強い意志をもってくじけずに粘り強く本気で取り組んでほしいと思います。

7272721227721EHBUEUE

12月26日(月)27日(金)に、くらしき作陽大学で岡山県アンサンブルコンテストの中学校の部が開催され、吹奏楽部が出場しました。行事等の関係で練習期間が短かったのですが、限られた時間でどうしたら効率よく練習でまるかを自分たちで考えながら練習に取り組んできました。2チームが出場予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で1チームは辞退することになり、1チームの出場となりました。管楽四重奏に出場した1、2年生で構成されたチームは、練習を重ねてきた成果を発揮し、演奏に強弱をつける等見事に表現し、銀賞を獲得することができました。

12月27日(金)に、ボランティア部が門松を制作しました。大きめの鉢の中心に青竹を3本立て、周りに松、

葉ボタン、千両、パンジー等をバランスを考えながら植え 付けていきました。最後に鉢を菰(こも)で巻いて完成さ

せました。始めてだったので、試行錯誤しながら協力して作りました。完成した一対の門松を 西部いこいの里に持って行き、玄関に飾ってもらいました。新型コロナウイルス感染症の影響 で施設を訪問して交流することはできない期間が続いていますが、こういった形で喜んでもら えるとありがたいです。

今年も空き江アートを制作しています

今年も、実行委員を中心に高屋中学校伝統の「空き缶アート」を制作しています。生徒一人一人が考えたデザイン画から、今年度のデザインが12月に決まりました。今は、空き缶を洗浄しプルタブを取り、針金を通す穴をあけているところです。これから、空き缶に色を塗って針金を通していきます。どんな「空き缶アート」ができるか楽しみにしてください。